

事務事業チェックシート

事務事業No 238 事業名 老人クラブ育成補助事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	2	高齢者の生活の充実
取組方針	2	高齢者が心身ともに健康な生活を送ることができるまちづくり

事業種別	継続	
事業期間	～ 永年	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	高齢者・地域福祉課	佐々木 忍 435-1063
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	老人福祉費		
	大事業	老人福祉事業		
事項	老人クラブ育成補助事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	自らの老後を健全で豊かなものとするための自主的な組織であり社会奉仕活動や生きがいと健康づくりの活動等を行っている老人クラブが、高齢者のニーズに応じた活動や情報交換の場のよりいっそうの充実を図り、健康寿命の延伸を図る。	和歌山市内の老人クラブからの申請に基づき補助金を交付。各老人クラブでは、健康教室、ゲートボールなどのスポーツ活動、清掃活動などを行っており、高齢者相互の親睦及び健康づくり、老人クラブ会員のいきがいの増進につながっている。また、さまざまな世代と交流の機会や地域ボランティアを行うことで、高齢者の社会参画に役立っている。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		和歌山市内の単位老人クラブからの申請に基づき、会員数に応じて計算した額を上限に補助金を交付。高齢者相互の親睦及び健康づくりの観点から、老人クラブ会員の生きがいを高めた。また、さまざまな世代との交流の機会や地域ボランティアを行うことで、高齢者の社会参画に役立っている。	和歌山市内の単位老人クラブからの申請に基づき、会員数に応じて計算した額を上限に補助金を交付。高齢者相互の親睦及び健康づくりの観点から、老人クラブ会員の生きがいを高めた。また、さまざまな世代との交流の機会や地域ボランティアを行うことで、高齢者の社会参画に役立っている。	和歌山市内の単位老人クラブからの申請に基づき、会員数に応じて計算した額を上限に補助金を交付。高齢者相互の親睦及び健康づくりの観点から、老人クラブ会員の生きがいを高めた。また、さまざまな世代との交流の機会や地域ボランティアを行うことで、高齢者の社会参画に役立っている。	和歌山市内の単位老人クラブからの申請に基づき、会員数に応じて計算した額を上限に補助金を交付。高齢者相互の親睦及び健康づくりの観点から、老人クラブ会員の生きがいを高めた。また、さまざまな世代との交流の機会や地域ボランティアを行うことで、高齢者の社会参画に役立っている。	和歌山市内の単位老人クラブからの申請に基づき、会員数に応じて計算した額を上限に補助金を交付。高齢者相互の親睦及び健康づくりの観点から、老人クラブ会員の生きがいを高めた。また、さまざまな世代との交流の機会や地域ボランティアを行うことで、高齢者の社会参画に役立っている。

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	15,806	15,424	15,684	14,694	14,920	14,140	14,374		14,374	
伸び率 (%)	-	-	▲0.8%	▲4.7%	▲4.9%	▲3.8%	▲3.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	1,302	1,306	1,306	3,379	3,379	4,263	4,103	4,248	
	正規職員以外		0							
小計	1,302	1,306	1,306	3,379	3,379	4,263	4,103	4,248		
国庫支出金	5,268	5,268	5,228	5,228	4,973	4,973	4,791		4,791	
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	10,538	10,156	10,456	9,466	9,947	9,167	9,583		9,583	
所要人数 (人)	正規職員	0.17	0.17	0.17	0.45	0.45	0.54	0.52	0.57	
	正規職員以外		0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 14,374千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値	達成度 (%)
活動指標	支給団体数	目標値	318	306	296	287	287
		実績値	318	306	296		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	老人クラブの加入率 (老人クラブ会員数/60歳以上人口)	目標値	16	16	16	16	16
		実績値	12.7	11.8	11.2		
		達成度 (%)	79.4%	73.8%	70.0%		
		目標値					
		実績値					
		達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	老人クラブは地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、介護予防や会員相互の生活支援という観点からその役割は重要である。このため本事業を継続し、今後も高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に貢献していく必要がある。
見直し・改善内容	